

令和2年度 併設校 AO 入試 総合考査 問題用紙【保健医療学部】

試験時間：60分

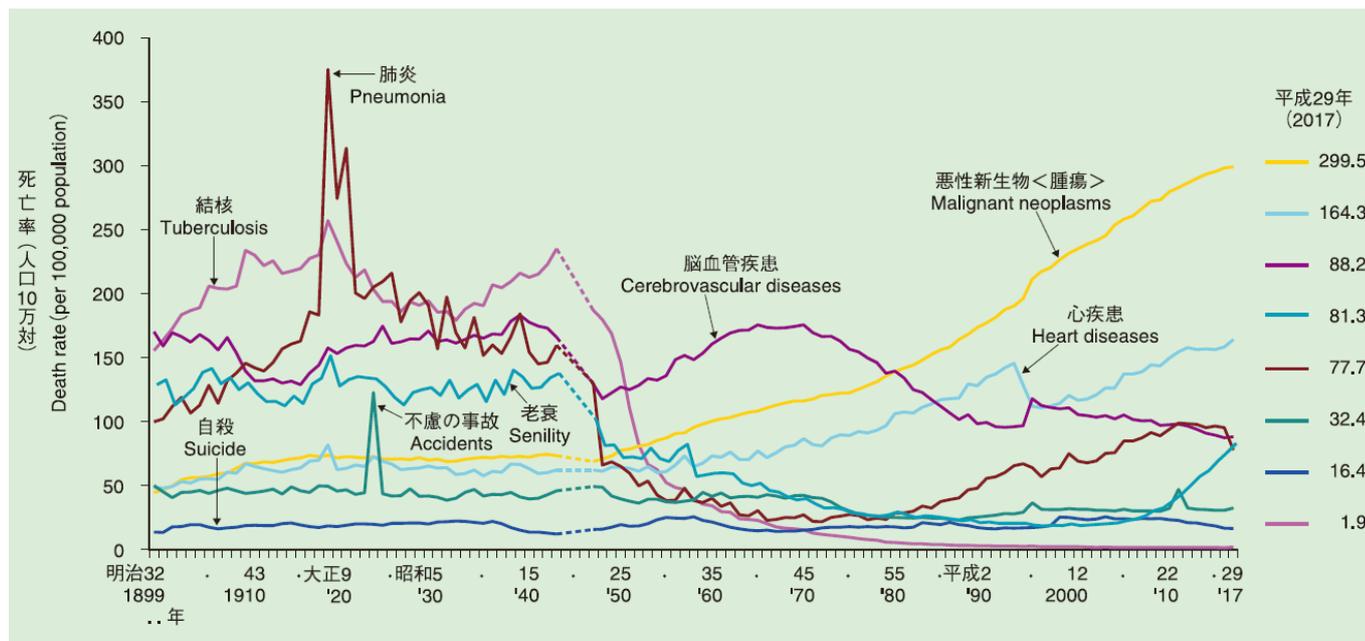
.....  
問1. 死因別死亡率の年次推移は、克服すべき病気の種類が過去から大きく変貌を遂げている。

〈資料1〉肺炎・結核が減少し、近年は悪性新生物（腫瘍）・心疾患が増えている要因について述べよ。

問2. 近年、死亡原因の一位は、癌（がん）であり、増加傾向にあり、その対策は重要である。

2017年の死亡数が多い部位〈資料2〉では、肺癌および消化器系の癌（胃、大腸、肝臓、膵臓）が上位にあるが、死亡数を減らすためにどのような事を推進していけば良いか述べよ。

〈資料 1〉主要死因別死亡率の年次推移—明治 32～平成 29 年—



出典：平成 29 年人口動態統計、厚生労働省

〈資料 2〉日本のがん統計

● 2017年の死亡数が多い部位は順に

	1位	2位	3位	4位	5位	
男性	肺	胃	大腸	肝臓	膵臓	大腸を結腸と直腸に分けた場合、結腸4位、直腸7位
女性	大腸	肺	膵臓	胃	乳房	大腸を結腸と直腸に分けた場合、結腸2位、直腸9位
男女計	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓	大腸を結腸と直腸に分けた場合、結腸3位、直腸7位

出典：人口動態統計によるがん死亡データ、国立がん研究センター